

論 説

13世紀の紅海交易

——エジプトからイエメンへ輸出された
商品の分析を中心として——

栗 山 保 之

は じ め に

アラビア半島とアフリカ大陸に挟まれた紅海は、地中海世界とインド洋海域世界とを取り結ぶ、あまたの海上商人たちが古来より往来する海であった⁽¹⁾。とりわけ10世紀半ば以降、西アジアの政治・経済の中心がイラクのバグダードからエジプトのカイロへ移ると、地中海とインド洋との連絡路はそれまでのペルシャ湾から紅海へと移行し、これに呼応するようにして、10世紀半ばごろから活性化しはじめた紅海交易は、15世紀末のポルトガルのインド洋来航までおおいに活況を呈するようになった。

この紅海交易に関して、ゴイテイン S. D. Goitein はゲニザ文書を用いて、地中海とインド洋とを往還するユダヤ教徒商人の交易活動の実態を検討し、紅海を行き交う海上商人の姿を具体的に明らかにした⁽²⁾。またグオ Li Guo は、エジプトの紅海沿岸の港クセイル al-Qusayr において出土したアラビア語文書を利用し、同港を拠点としたムスリム商人による紅海交易について、交易を実施していたムスリムの商家の構成やその業務、交易ルートおよび商品などに関して述べている⁽³⁾。一方、家島彦一はおもにアラビア語年代記史料を駆使して、11世紀から15世紀にかけて地中海世界とインド洋海域世界とをつなぐ国際交易において活躍したカーリミー商人 (al-Kārimī, al-tujjār al-Kārimīya) を分析し、特にイエメンに隆盛したラスール朝 al-Rasūlids (626-858/1228-1454年) とカーリミー商人との関係に着目して、彼らの交易活動を論じている⁽⁴⁾。

これら諸研究はいずれも、商人や交易形態、航路などさまざまな側面から多角的に紅海交易を考察しているが、この紅海交易を分析するうえで不可欠な問題のひとつである商品に関しては、いまだ十分に検討されていないように思われる。たとえばゴイテインやグオは、いかなる商品が紅海交易において取引されていたのかをとりあげてはいるものの、史料的な制約もあり、商品の種類に言及する程度で終わっているからである。

そこで本稿では、近年、発見、校訂されたラスール朝時代のアラビア語史料を分析し、エジプトからイエメンへ輸出された商品を中心に検討することによって、13世紀の紅海交易について考えてみたい。

第1章 史料の紹介

第1節 史料と記載形式

本稿において分析するエジプトからイエメンにもたらされた商品とは、アラビア語史料『壮麗なるムザッファルの時代におけるイエメンの統治と法律そして諸慣習に関する知識の光 (*Nūr al-Ma'ārif fi Nuẓum wa Qawānīn wa A'rāf al-Yaman fī al-'Ahd al-Muẓaffarī al-Wārif*)』(以下、本稿では『知識の光』と略記)に収録された、「エジプトの諸地方から到来する諸商品 (*al-baḍā'i' al-wāṣila min al-diyār al-Miṣriya*)」と題する一節にみえるアデン港税関 (*furda*) の取扱品を指す⁽⁵⁾。この『知識の光』とは、ラスール朝第2代スルタン・ムザッファル *al-Muẓaffar Yūsuf b. 'Umar* の統治期 (647-94/1249-95年) に作成された税務行政関連の諸文書を編纂したものである。したがって、エジプトからアデン港へ輸出された商品を記すこの一節もまた、アデン港税関において作成された税関関連の文書をもとに編集されたものであると考えられる。ただしそれが、スルタン・ムザッファル統治期のいつ頃の税関関連文書にもとづいているのかは定かではない。しかしながら、『知識の光』に収録された税務行政関連の文書の多くが1290年から1294年にかけて作成されたものであることから推測すると、この一節も上記の時期に作成された税関関連文書を利用して

編纂されたものであると考えられる⁽⁶⁾。

では、『知識の光』に収録されたこの「エジプトの諸地方から到来する諸商品」の一節がいかなる形式で記されているのかを確認するために、以下にその一部分を引用してみる。

(前略) …… 【1】 イラン産無染色織物 (al-thiyāb al-Fārisīya al-maqṣūr) ・ 【2】 10 [枚] ・ 【3】 1 ディーナール (dīnār) ・ 2 キーラート (qīrāṭayn)。イラン産無漂白織物 (al-thiyāb al-Fārisāya al-khām) ・ [課税標準] 20 [枚] (kawraja)⁽⁷⁾ ・ [関税] 1 ディーナール ・ 1/2 [ディナール] ・ 1/3 [ディナール] ・ 3 フルース (furūs) ・ 【4】 仲介税 (dīlāla) 1/8 [ディナール]。色付ストライプ柄外衣 (al-ḥulal al-mulawwana) ・ 10 [枚] ・ 4 [ディナール] ・ 1/2 [ディナール] ・ 1/3 [ディナール] ・ 1/8 [ディナール] ・ 仲介税 1/3 [ディナール] ・ 1/4 [ディナール] ・ 2 フルース …… (後略)⁽⁸⁾

最初に、取扱品としての商品名(下線部【1】)が記載される。その直後に付された数値(下線部【2】)は課税標準にあたり、この課税標準としての数値に続いて記された数値(下線部【3】)が関税額を示している。そしてこの後に、仲介税の表記とその税額(下線部【4】)が付されているが、商品によっては仲介税が賦課されないものもある⁽⁹⁾。このように、『知識の光』に収載された上記の一節には、税関業務に関連する事項である商品名・課税標準・関税額・仲介税額が順番に列挙されていることから、この一節がアデン港税関で作成された税関文書をもとに編集されたものであることが明らかに認められるのである⁽¹⁰⁾。

そこで以下では、このような配列による「エジプトの諸地方から到来した商品」の記載をもとに、エジプトからもたらされた商品に関して検討してゆくが、筆者はこの記載を整理し【エジプトからイエメンへ輸出された商品の一覧】として末尾に添付したので、適宜参照されたい。

第2節 商品の種類

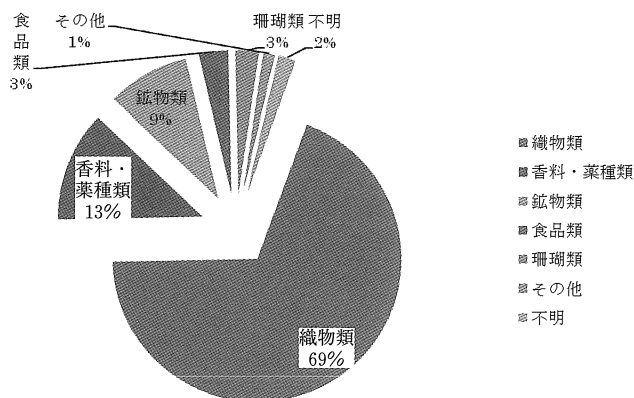
『知識の光』の記載において注目すべきは、エジプトからイエメンへもたらされた商品の具体的な存在を確認することができる点である。従来の研究では、インドや中国などの東方からエジプトや地中海北岸地域などの西方への物流について多くの言及がなされてきた。ところがこれとは逆に、西方から東方への物流について論及した研究は少ない⁽¹¹⁾。これは、地理書や旅行記などではエジプトからイエメンへ輸出されていた商品について詳細な記録をみいだすことが難しかったからである⁽¹²⁾。一方、この『知識の光』の記載は、税関文書をもとに編纂されたという史料的な特質ゆえに、13世紀に西方から東方へ、すなわちエジプトからアデン港へ向けて輸出された商品名を明示しているのである。

では、それらの商品にはどのようなものがみられたのであろうか。『知識の光』には、たとえば高級バグダード産ベール (al-naṣāfi al-Baghdādī al-rifā‘ [sic]) [10]、イラク産縞紋外衣 (al-abrād al-‘Irāqīya) [16]、袖無山羊毛肩掛け (al-malāwāt al-sha‘rī al-futūḥī [sic]) [79]、山羊毛一般ハンカチ (al-manādīl al-muqāraba al-sha‘rī [sic]) [82]、高級平織腰着 (al-wasaṭāniya al-sādhij al-rifā‘) [119] といった織物類をはじめとして、マフラブ (al-maḥlab al-munaqā 芳香性果粒の一種) [1]、没食子 (al-‘afṣ) [9]、甘草 [根] (al-‘irq al-sūs) [129]、クミン (al-kammūn) [136]、珊瑚 (al-marjān) [51～54]、エジプト産ガラス器 (al-zujāj al-Miṣri) [57]、辰砂 (al-zanjafar) [47]、黄色砒素 (al-zarnīkh al-aṣfār) [128]、オリーブオイル (al-salīṭ) [140]、バター油脂 (al-samn) [141] など、じつに多種多様な商品がエジプトからアデン港にもたらされていた⁽¹³⁾。

『知識の光』によると、13世紀にエジプトからアデン港へ輸出され同港税関において取り扱われた商品の総品目数は、152点を数えた⁽¹⁴⁾。これらは織物類と織物類以外の物産としての非織物類に大別でき、前者は全体のおよそ7割 (105点: 69%) を占め、後者は3割 (47点: 31%) 程度であり、商品は圧倒的に多くの織物類によって占められていた。

表：商品の種別

種別	一覧表内の掲載番号	合計品目数
織物類	6,10～30,48,62～127,130～135,137～139,145～151	105
香料・薬種類	1～5,7～9,31～33,37～38,58～61,129,136	19
鉱物類	34,39～44,46,47,49,50,128,144,152	14
食品類	36,140～143	5
珊瑚類	51～54	4
その他	35,57	2
不明	45,55,56	3



グラフ：エジプトからイエメンに到来した商品の種別

また、非織物類の商品は、香料・薬種類（19点：13%）、鉱物類（14点：9%）、食品類（5点：3%）、珊瑚類（4点：3%）、その他（2点：1%）、不明（3点：2%）に細かく分類できるため、非織物類に含まれるそれぞれの商品の全体に対する割合はさらに低くなる。したがって、13世紀にエジプトからアデン港にもたらされた商品の品目数は、総じて織物類が突出していたといえるのである⁽¹⁵⁾。

第2章 商品としての織物類と非織物類

第1節 織物類について

すでに確認したように、アデン港税関の主要な取扱品目は織物類であった。『知識の光』には、絹糸（al-ibrisim）〔6〕、モスル産ベー

ル (al-naṣāfī al-Mawṣiliya) [12]、旅行者用縞紋外衣 (al-abrād al-musāfirīya) [15]、北部シナ産絹織物 (al-khiṭai al-nasij) [19]、色付布帯 (al-ma‘ājir al-mulawwana) [24]、白色長衣 (al-sawāsī al-bīd) [62]、亜麻織肩掛け (al-malāwāt al-kattān [sic]) [74]、山羊毛一般ハンカチ [82]、コース産刺繍入ターバン (al-‘amā‘im al-Qūṣī al-muṭarraza [sic]) [87] など、さまざまな織物類がみえる⁽¹⁶⁾。

エジプト産織物類には、コース産刺繍入ターバン [87]、コース産ターバン (al-‘amā‘im al-Qūṣī [sic]) [88]、ダミエッタ産金糸刺繍入 4 ジラー幅布 (al-arbā‘ al-mudhahhaza al-Dimyāṭī [sic]) [132]、ダビーク産織物 (al-thiyāb al-Dabīqī [sic]) [112～113]、エジプト産肩掛け (al-malāwāt al-Miṣrī ‘amal al-Ḥabash [sic]) [117]、エジプト産毛布 (al-malāhif al-Miṣrī [sic]) [118]、無漂白コース産腰布 (al-fūta al-Qūṣī al-muḥashā [sic]) [120] があった⁽¹⁷⁾。ヤークート Yāqūt はダビークの説明において「ファラマーとティンニスとの間にあった地で、エジプトの行政州に属し、ダビーク産織物はここに由来する」と記し、ダビーク産織物が広く知られていたことを伝えている⁽¹⁸⁾。ダビークと同様に、ナイル・デルタに位置するダミエッタにて生産される織物に関してヤークービー al-Ya‘qūbī は、「ダミエッタではダビーク風の織物や亜麻織物、縞紋織が作られる」と記している⁽¹⁹⁾。コース産織物について直接言及する史料はみいだせないが、ナイル河上流部のアスワン Aswan においてヒジャーズ地方へ向けて輸出される織物が生産されており⁽²⁰⁾、このアスワンで生産された織物が、その下流の「アデンから到来する商人の港」⁽²¹⁾としてのコースに集荷され、紅海を経てアデン港へも輸出されていたと考えられる。なお、ラスール朝後期の年代記には、「メッカから商人たち (tujjār) が、素晴らしい贈物 (hadiya)、エジプト産織物 (bazz Miṣrī)、そのほかを携えて到着した」とあり⁽²²⁾、同王朝のスルタンに献上される品々にエジプト産織物類が含まれていたことが確認できる。

イラクにて生産される織物類として、バグダード産ベール [10～11]、モスル産ベール [12] イラク産縞紋外衣 [16] アッタービー産織物 (al-thiyāb al-‘Attābī [sic]) [21] があった⁽²³⁾。ムカッダシー al-

Muqaddasī が記すイラクで生産される物産のなかには、ウブッラ al-Ubulla の高級亜麻織物 (thiyāb al-kattān al-rafi'a)、クーファ al-Kūfa の絹織ターバン ('amā'im al-khazz)、バグダードの絹織物 (thiyāb al-qazz) などの織物類がみいだされる⁽²⁴⁾。ラスール朝年代記によると、スルタンへの献上品にイラク産亜麻織 (al-bazz al-'Irāqī) が含まれていたとあり⁽²⁵⁾、それはイラク産織物類が良質であったことを裏付けている。同じイラク産織物類のなかでも、とくにバグダード産織物類の素材については、匿名のペルシャ語地理書に「バグダードは木綿、絹織物を生産する」とある⁽²⁶⁾。さらにアッタービー産織物類に関しては、イブン・ジュバイル Ibn Jubayr がバグダードの描写のなかで「街区の名前のひとつはアッタービーヤであり、アッタービー織物は絹や色とりどりの木綿からなるが、それはそこで製造される」としており、同じバグダード産でもアッタービーヤの街区で生産されたものは特に優れた織物として、諸方に知られていた⁽²⁷⁾。モスル産の織物類についてはイブン・ルスタ Ibn Rusta が、同地で生産されるカーテン (sutūr) はイランのジバル地方のルワイダシュト Ruwaydasht において生産されるカーテンに美しさの点で劣っている⁽²⁸⁾。

イラン地方の織物類として、シーラーズ産織物 (al-thiyāb al-Shirāziya) [15]、イラン産無染色織物 [27]、イラン産無漂白織物 [28] がみえる。ムカッダシーはシーラーズの産物を記すなかで「シーラーズからは、そこ以外に他のどこにもみいだせない魅惑的な外衣 (al-aksiya al-barrakānāt)、良質さやかわいらしさにもかかわらず着心地において他に類をみない二重の織物 (munayyarāt)、素晴らしい外衣 (abrād)、絹 (khazz)、ブローケード織 (dībāj)、良質亜麻織 (qaṣab)、そして外套 (ḥulla) がある」とし、シーラーズ産織物類が高く評価されていたことを伝えている⁽²⁹⁾。その良質さは、ラスール朝スルタン・ザーヒル al-Malik al-Zāhir の治世 (831-40/1428-39年) に、アデン港からスルタンに宛てた商人たちやナーホダーたち (nawākhīdh) の贈物のなかにシーラーズ産亜麻織 (al-bazz al-Shirāzī) が含まれていたことによっても確認できる⁽³⁰⁾。

シリア産の織物類には、樟脳色ヒムス産肩掛け (al-malāwāt al-Ḥimṣī al-kāfurī [sic]) [71]、孔雀色ヒムス産肩掛け ([al-malāwāt al-Ḥimṣī] al-ṭāwūsī [sic]) [72]、ヒムス産肩掛け ([al-malāwāt] al-Ḥimṣī [sic]) [76]、アンティオキア産織物 (al-thiyāb al-Anṭākī [sic]) [103~105]、アンティオキア産小判ハンカチ (al-manādīl al-Anṭākīya al-ṣighār) [123]、フーラ産織物 (al-thiyāb al-Ḥūliya) [22] がある⁽³¹⁾。アンティオキア産の織物についてイドリーシーは、「アンティオキアにおいては良質の単色衣服 (al-thiyāb al-muṣmata) やアッターブ風の織物 (‘Attābī) やタスタル風の織物 (Tastarī)、そしてイスファハーン風の織物 (Iṣbahānī) が作られている」と記しており、各種織物類が生産されていた⁽³²⁾。フーラにおいて生産された織物類に関してムカッダシーが「フーラは木綿 (aqṭān) や花々の鉾山 (ma’din) である」と述べているように⁽³³⁾、同都市で生産される織物類の素材はもっぱら木綿であった。

上記の諸地域以外にも、トルコ産織物としてのマラティーヤ産外衣 (al-akṣiya al-Malaṭī [sic]) [115]、北部シナ産絹織物 [19]、エチオピア産ターバン (al-baqā’ir al-Ḥabāshī [sic]) [89]、東アフリカのスファール産ターバン [121] がみられた⁽³⁴⁾。

以上のように、『知識の光』に記録された、エジプトからアデン港へ輸出された織物類に関しては、地理書や年代記などの他史料の記述によって、その記載をほぼ裏付けることができたといえるだろう。

第2節 非織物類について

エジプトからもたらされた商品には、織物類の他にもさまざまあった。たとえば、銅 (al-ṣafr al-fakhr [sic]) [39]・黒鉛 (al-raṣāṣ al-aswad) [43]・水銀 (al-zaybaq) [46]・辰砂 (al-zanjafar) [47]・ろ砂 (al-nushādir) [49]・硫黄 (al-kibrīt) [144]・明礬 (al-shabb) [152]・アンチモニー (al-rāsikht) [50]・黄色砒素 [128]・エジプト産ガラス器 [57]・珊瑚 [51~54] などが、『知識の光』に記載されている⁽³⁵⁾。

織物類と同様に、これら非織物類の商品にも生産・積出地表記が付されているものがみえる。それは、マグリブ産クフル (al-kuḥl al-

Maghribī) [32]、イラン産ギンバイカ [33]、マラーザブ産亜鉛 (al-tūtiyā' al-Marāzabī) [34]、イラク産紙 [35]、エジプト産銅 [42]、ダフラク島産ドウラキー (al-durakī al-Dahlakī) [55]、イラク産オカヒジキ (al-ushuna al-'Irāqīya) [60] である⁽³⁶⁾。マグリブ産クフル [32] については、イブン・ハウカルによるとタラーブルス Ṭarābulṣ 産があげられている⁽³⁷⁾。またディマシュキー al-Dimashqī はアンダルスの特産品として、マラーザビー産亜鉛があり、それはマラーザビー (Marāzabī) と呼ばれている」と記しているように、ケルマーンで採掘されたものであり、西アジアではよく知られていた⁽³⁹⁾。イラク産紙 [35] に関してカルカシャンディー al-Qalqashandī は、バグダード産紙が西アジアで製造される紙のなかでは最上級であると述べており⁽⁴⁰⁾、アデン港に輸入されたイラク産紙とは、このバグダード産紙を指していると考えられる。

このように、非織物類には生産・積出地の表記が付された商品がある一方で、生産・積出地の表記がない非織物類も多くみえる。ただ物産によっては、その生産地が限定されているために、特に生産・積出地表記が必要ない商品もあった。たとえば水銀の産地は、イドリーシーによると、スペインのコルドバ Qurṭuba 北方がよく知られ、ディマシュキーはアンダルスのバスターサ bastāsa に水銀鉱山があると記している⁽⁴¹⁾。明礬はイエメンの特産物であったが⁽⁴²⁾、イブン・マンマーティー Ibn Mammātī によれば、エジプトのサイード Ṣa'īd で産出され、アラブ遊牧民 ('Arab) たちによってナイル河を利用してクースへ運ばれていたという⁽⁴³⁾。既述のようにクースは「アデンから到来する商人の港」であったことから、明礬はここからクセイルないしアイザープ 'Aydhab を経てアデン港へもたらされていたと考えられる⁽⁴⁴⁾。珊瑚 [51～53] についてはその産地がさらに限定され、地中海のサルディーニア島やシチリア島、スペインのセウタ近海で採集されたものがイエメンに持ち込まれていた⁽⁴⁵⁾。

以上、一部ではあるものの、非織物類に関して他の諸史料によって確認した。これによって『知識の光』の記載を裏付けることができただろう。

第3章 商品の諸相

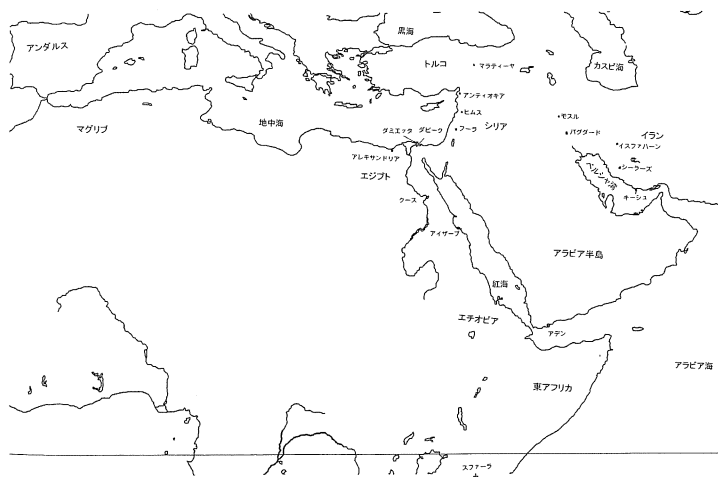
第1節 商品の生産・積出地および物流ルート

『知識の光』にみえる、エジプトからイエメンにもたらされた商品には、その生産・積出地を示す地名が付されたものが散見する⁽⁴⁶⁾。それらを列挙すると、以下のようになる⁽⁴⁷⁾。

- エジプト : ダミエッタ Dimyāt、
アレキサンドリア al-Iskandariya、コース Qūṣ、
ダビーク Dabīq
- イラク : バグダード Baghdād、モスル al-Mawṣil
- イラン : シーラーズ Shīrāz、イスファハーン Iṣbahān、
マラーザブ al-Marāzab
- シリア : ヒムス Ḥimṣ、アンティオキア Antākīya、
フーラ al-Ḥūla
- 小アジア : マラティーヤ Malaṭīya
- マグリブ : マグリブ al-Maghrib
- 東アフリカ : スファーラ al-Sufāla、エチオピア al-Ḥabasha
- 東アジア : 北部シナ al-Khiṭāi

以上の地名により、アデン港税関で取り扱われた商品が、これらの諸都市・地域において生産・積出されたものであることがわかる。その範囲は、イエメン向け商品の集積地であるエジプトを中心として、西はマグリブ、東は東アジアに至る広大な領域に及んでいた。

ところで、これらの広域的な生産・積出地に関連する事柄のひとつに物流ルートがある。『知識の光』のなかには、イラク産紙 [35]、イラン産ギンバイカ (al-hadas al-Fārisī) [33] など、イラクやイランを生産・積出地とする商品がみえる⁽⁴⁸⁾。これらの商品は通常、ペルシャ湾を介してアデン港にもたらされていた。事実、『知識の光』所収のアデン港税関に関する別の史料には、上記と同じイラク産紙



地図

やイラン産ギンバイカがペルシャ湾の一大国際港キーシュ Qish を経由して運ばれていたことが明示されている⁽⁴⁹⁾。しかし、『知識の光』に収録された「エジプトの諸地方から到来する諸商品」にみえるイラク産紙やイラン産ギンバイカは、キーシュを介さず、エジプトを経由してアデン港にもたらされていた。ここから、13世紀のアデン港が関わる国際交易においては、アデン港にもたらされる商品は、その生産・積出地からアデン港まで単一の物流ルートによってもたらされたのではなく、並存する複数の物流ルートによって運ばれていたことがわかるだろう。

また、アデン港税関において取り扱われた商品は、上述のように、広範囲にわたる生産・積出地からエジプトに一旦集積された後、アデン港にもたらされていた。そこでこの点に留意して、『知識の光』にみえるスファアラ産ターバン [121] について考えてみる⁽⁵⁰⁾。スファアラはアラビア海に面する東アフリカ沿岸の地であり⁽⁵¹⁾、距離的にはエジプトよりもアデン港に近かった。それにもかかわらず、このスファアラ産ターバンはアデン港に直接輸入されず、遠方のエジプトへ一度、運搬された後に、再び紅海を南下してアデン港へ送られていた。この事例から、生産・積出地とアデン港とを取り結ぶ

物流ルートは、必ずしも地理的な最短ルートが採用されていたわけではないことがわかる。

以上のように、広大な領域に及んだ商品の生産・積出地はエジプトとアデン港がかかわる国際交易の広域性を表し、しかもアデン港とそれぞれの商品の生産・積出地とは、その交易網に張り巡らされた並存する複数の物流ルートによって結ばれていたのであった。

第2節 中継港アデンと海上商人たち

13世紀に、エジプトからもたされた商品の全てが、アデン港を終点としていたとは考え難い。もちろん、イエメンで消費された商品も存在しただろう。しかし、アデン港に至った商品の大多数はむしろ、同港を中継して他のインド洋海域の諸地域へ輸送されていたと考える方が合理的であろう。たとえばウマリー al-‘Umarī は、インド西岸の記述において「春着 (kiswa al-rabī‘) についていえば、その大部分はアレキサンドリア風の織物 (al-qumāsh al-Iskandarī) であり、それはアレキサンドリア産である。また秋着についていえば、その全てはデリーにあるスルタンの織物工房産の絹 (ḥarīr) であり、そしてシナやイラクの織物 (qumāsh al-Ṣīn wa al-‘Irāq) である」と伝え、さらに「ルース al-Rūs やアレキサンドリアからこの [インドの] 王国に輸入された亜麻織物 (thiyāb al-kattān) はスルタン以外に着ることはできないのである」とも伝えている⁽⁵²⁾。このように、エジプトからもたらされたエジプト産やイラク産の織物類はその品質の良さゆえに、アデン港を介してインド西岸をはじめとしたインド洋海域の諸地域へ輸出されていたのである。おそらくこのようなエジプト産やイラク産の織物類と同様に、『知識の光』にみえる、エジプトからアデン港にもたらされた商品の多くは、同港を中継港として、さらにインド洋海域世界へむけて輸出されていたのであろう。

ところで、『知識の光』には、「カーリミー商人のインド地方搬送用の諸商品 (baḍā’i‘a al-kārimiya al-musaffara ilā bilād al-Hind)」として、カーリミー商人によってインド方面へもたらされた商品名を列挙する記事が収載されている⁽⁵³⁾。この記事によると、カーリミー商人

たちがインドへ搬送していた商品は、以下の通りであった。

銅 (al-ṣifr al-fakhr wa al-Bayrawa) ・ 重軽動物皮革 (idam al-thaqīl wa al-khaffif) ・ 白鉛 (al-raṣāṣ al-abyaḍ) ・ 黒鉛 (al-raṣāṣ al-aswad) ・ クスト (al-qusṭ 香料の一種) ・ 没薬 (al-murr) ・ 木綿 (al-‘uṭb al-mubar‘am) ・ クミン (al-kammūn) ・ 鉄 (al-ḥadīd) ・ カヤツリグサ (al-si‘ad) ・ 亜麻 (al-kattān) ・ 山岳地産オカヒジキ (al-ushuna al-jabalī)⁽⁵⁴⁾ ・ マフラブの皮 (qishir al-maḥlabī) ・ 金剛砂 (al-sunbādhaj)⁽⁵⁵⁾ ・ ラック染料 (al-lakk) ・ ナツメヤシの実の果汁 (al-dawshāb)⁽⁵⁶⁾ ・ 丸型香料 (al-aẓfār al-mudawwar) ・ 象牙 (al-‘āj) ・ 丸めた木綿 (al-‘uṭb al-maḥlūj) ・ 良質の鉄 (al-ḥadīd al-fulādh) ・ マスティック天然樹脂 (al-muṭakā) ・ 赤タマリンド (al-thamra al-ḥamrā) ・ 生糸 (al-ghazal) ・ ミルラ樹の樹皮 (qishr al-mā‘i‘a) ・ フルフラーン (al-furfurān) ・ マフラブ (al-maḥlab) ・ イラク産オカヒジキ (al-ushna al-‘Irāqīya) ・ 白赤色香料 (al-aẓfār al-mushaqqara) ・ 動物皮革 (al-idam) ・ サルーフ (al-salūkh) ・ ナツメヤシの実 (al-thamra) ・ タマリンド (al-ḥumar) ・ 液状没薬 (al-mā‘i‘a al-sā‘ila) ・ 潰したナツメヤシの実 (al-thamra al-ma‘šūr) ・ 茜 (al-fuwwa) ・ クフル (al-kuḥl) ・ 没食子 (al-‘afṣ) ・ 硫黄 (al-kibrit)

これらの商品に関して注目したいのは、カーリミー商人たちが取り扱っていた商品には、いわゆる非織物類が圧倒的に多く、『知識の光』にみえるエジプトからイエメンにもたらされていた主要な商品としてあげられる織物類が亜麻、木綿、そして生糸を除いて全く含まれていなかったという点である。しかもカーリミー商人が携えた織物類は、『知識の光』に記録された織物類がじつに多種多様な商品であったのに比して、簡素であったことが認められるのである。このことから、エジプトからイエメンへ向かった他の海上商人たちの主要な取扱品目が織物類であったのに対して、エジプトからアデン港を介してインドへ向かっていたカーリミー商人たちは織物類をほとんど取り扱わず、その主要な取扱商品は非織物類であったとみなすことができる。このことは換言するならば、カーリミー商人たちの取扱商品とカーリミー商人以外の海上商人たちのそれとは、重

複することはあれ、必ずしも同一ではなかったことを示している。したがって、エジプト～イエメン間の海上交易を営むすべての海上商人たちは、カーリミー商人を含めて、それぞれの商業資本の規模や交易形態あるいは取引相手などに応じて、得意とする商品を取り扱っていたとみなすことができるであろう。

むすびにかえて

本稿では紅海交易に関して、特に13世紀のエジプトからイエメンのアデン港へもたらされた商品の検討を中心におこなった。それは、以下のようにまとめられる。

末尾の一覧表に整理したように、13世紀においてエジプトから到来したアデン港税関の取扱品としての具体的な商品名が明らかになった。アデン港にもたらされた商品の総品目数は152点を数え、これら商品は織物類と非織物類に大別され、もっとも多い品目は織物類であった。商品の生産・積出地は西のマグリブから東の中国に至る広大な領域に及び、各地の商品はエジプトに集積された後、アデン港へもたらされたが、その際、生産・積出地とアデン港とを結ぶ物流ルートは必ずしも最短ルートが選択されていたわけではなく、また並存する複数の物流ルートが用いられていた。なお非織物類の分析によって、カーリミー商人の取扱商品と、その他の海上商人のそれが異なっていたことを明示し、海上商人たちは商業資本の規模や取引相手などに応じて、得意とする商品を取り扱っていたことを示した。

以上のように、商品についての諸相を検討した結果、13世紀の紅海交易にかかわる従来の研究では指摘されていない上記の諸点を明らかにしたことにより、紅海交易の主要部分を占めたエジプト～イエメン間交易について新たな知見を得ることができたと考えている。

なお今回、関税や仲介税といった税関連に関しては分析しなかった。そのおもな理由は、13世紀のアデン港税関の関税や仲介税の税率が明らかではなく、そのため関税や仲介税に関してはいまだ厳密に検討できないからである。しかしながら、この問題が紅海交易を

考察するうえで重要な問題であることは言うまでもない。今後の課題のひとつとしたい。

参考文献

(史料)

Abū al-Fidā, *Taqwīm al-Buldān* (*Géographie D'aboulféda*), ed. M. Reinaud & M. de Slane, Paris, 1840.

Anonymous, *A Chronicle of The Rasūlid Daynasty of Yemen*, ed. Hikoichi Yajima, Tokyo, 1974.

Anonymous, *Ḥudūd al-'Ālam* ("The Region of the World," *A Persian Geograpy*), English trans. by V. Minorsky, Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, Frankfurt am Main, 1993 (Reprint of the Edition London 1937).

Anonymous, *Nūr al-Ma'ārif fī Nuẓum wa Qawānīn wa A'rāf al-Yaman fī al-'Ahd al-Muẓaffarī al-Wārif* (Lumière de la Connaissance Rèles, lois et coutumes du Yémen sous le règne du sultan rasoulide al-Muẓaffar), ed. Muḥammad 'Abd al-Raḥīm Jāzim, Centre François Archéologie et de Sciences Sociales de Sanaa, 2 vols., Ṣan'a', 2003, 2005.

al-Dimashqī, Abū 'Abd Allāh Muḥammad *Nukhbat al-Dahr fī 'Ajā'ib al-Barr wa al-Baḥr*, ed. A. Mehren, Leipzig, 1923.

Ibn Ḥawqal, *Kitāb Ṣūrat al-Ard*, ed. M. J. de Goeje, *BGA* (Bibliotheca geographorum Arabicorum), II, Leiden, 1967.

Ibn Jubayr, *The Travels of Ibn Jubair*, ed. William Wright, Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, Frankfurt am Main, 1994 (Reprint. Originally published Leyden, E. J. Brill, 1907).

Ibn Khurdādhbih, *Kitāb al-Masālik al-Mamālik*, ed. M. J. de Goeje, *BGA*, VI, Leiden, 1967.

Ibn Mammātī, *Qawānīn al-Dawāwīn*, ed. Aziz Suryal Atiya, Institute for the History of Arabic-Islamic Science at the Johann Wolfgang Goethe University, Frankfurt am Main, 1992 (Reprint. Originally published: Cairo: Imprimerie Misr, 1943).

Ibn al-Mujāwir, *Ṣifat Bilād al-Yaman wa Makka wa Ba'd al-Ḥijāz al-Musammāt*

- al-Ta'rikh al-Mustabshir*, (*Descriptio Arabiae Meridionalis*), ed. O. Löfgren, 2 vols., Leiden, 1951-1954.
- Ibn Rusta, *Kitāb al-A'lāq al-Nafīsa*, ed. M. J. de Goeje, *BGA*, VII, Leiden, 1967.
- al-Idrisī, *Kitāb Nuzhat al-Mushtāq fī al-Ikhtirāq al-Āfāq* (*Opvs Geographicvm*), ed. Instituto Universitario di Napoli, 9 vols., Leiden, 1970-84.
- al-Iṣṭakhrī, *Masālik al-Mamālik*, ed. M. J. de Goeje, *BGA*, I, Leiden, 1967.
- al-Muqaddasī, *Kitāb Aḥsan al-Taqāsīm fī Ma'rifat al-Aqālīm*, ed. M. J. de Goeje, *BGA*, III, Leiden, 1967.
- al-Muzaḥḥar, *Kitāb al-Mu'tamad fī al-Adwiya al-Mufrada*, ed. M. J. de Goeje, Beirut, n. d.
- al-Qalqashandī, *Ṣubḥ al-A'shā'*, 14 vols., Cairo, n. d.
- al-'Umarī, *Masālik al-Aḥsār fī Mamālik al-Amṣār*, ed. Aḥmad 'Abd al-Qādir al-Shādhilī, vol. 3, Abu Dhabi, 2003.
- Ya'qūbī, *Kitāb al-Buldān*, ed. M. J. de Goeje, *BGA*, VII, Leiden, 1967.
- Yāqūt, *Mu'jam al-Buldān*, 6 vols., Leipzig, 1866-1873.
- (研究書・論文)
- Goitein, S. D., *Letters of Medieval Jewish Traders*, Princeton, 1973.
- Guo, Li, *Commerce, Culture, and Community in a Red Sea Port in the Thirteenth Century*, Brill: Leiden/Boston, 2004.
- Smith, G. Rex, *Studies in the Medieval History of the Yemen and South Arabia*, London, 1997.
- 栗山保之 「13世紀におけるインド洋交易港アデンの取扱品目 (仮題)」『アジア・アフリカ言語文化研究』第75巻、2008年9月末発行予定。
- 家島彦一 『海が創る文明——インド洋海域世界の歴史』朝日新聞社、1993年。
- 家島彦一 『海域から見た歴史——インド洋と地中海を結ぶ交流史』名古屋大学出版会、2006年。

註

- (1) 本稿で用いるインド洋海域世界の概念は、家島1993に拠っている。
- (2) Goitein 1973.

- (3) Guo 2004.
- (4) 家島2006.
- (5) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479-484.
- (6) 栗山2008. Cf. *Nūr al-Ma'ārif*, I : a-z.
- (7) カウラジャ (kawraja) とは、1 カウラジャ=20とする単位。
- (8) 以下に引用する史料、および後掲の一覧表中において用いている
[] は筆者による補足を意味し、() は同意語を意味している。また、
【 】 内の数字は引用の便宜上、筆者が付したものである。
- (9) 仲介税が賦課されていない商品としては、小判色付亜麻織 ([al-'
aqadāt al-mulawwana] al-ṣighār) [26]、ナツメヤシ果実液 (al-'asal al-nakhl
[sic]) [36] など合計30品目を数える (*Nūr al-Ma'ārif*, I : 479-481, 483-484)。
なお、商品名の後の [] 付きの番号は、後掲の一覧表内における掲載
番号を示す。以下同様。
- (10) 課税標準・関税額・仲介税額とこれらの数値を解釈したことについ
ては、すでに別稿において検討したので、紙数の関係上、本稿では割愛
した。栗山2008を参照されたい。
- (11) たとえば、グオは、小麦・大麦・小麦粉・胡椒・バター・リンゴ・
レモン・豆類・玉ネギ・サフラン・珊瑚・亜麻・織物・腰布・ターバン・
ローブ・剣などが紅海交易で取り扱われていたことを明らかにしている
ものの、これらがエジプトからイエメンへ輸出されたものかは明言して
いないし、商品の生産・積出地にも言及していない (Guo 2004 : 67-68)。
- (12) 13世紀のイブン・アルムジャーウィル Ibn al-Mujāwir は、エジプト
からアデン港へ輸出された商品のなかで非課税商品を列挙しており、そ
れらは「小麦 (ḥiṭṭa)・小麦粉 (daqīq)・砂糖 (sukkar)・米 (urz)・ラッ
カ産石鹼 (al-ṣābūn al-Raqqī)・オカヒジキ (ushunān)・シロップ (quṭāra)・
オリーブオイル (zayt al-zaytūn)・亜麻油 (zayt al-ḥār)・塩漬けオリーブ
(al-zaytūn al-mumallih)・砂糖菓子 (nuql)・蜂蜜 ('asal)」であったが、課
税対象となる商品については記していない (Ibn al-Mujāwir, *Ṣifat*: 142)。
- (13) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479-481, 483.
- (14) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479-484. なお、エジプト産の砂糖と思われる商品
も別の箇所に見えるが、(*Nūr al-Ma'ārif*, I : 432)、それらは今回検討し

た一節には含まれておらず、なぜ欠落したのか判然としないため、考察の対象外として一覧表には入れなかった。

- (15) インド洋貿易において織物類が最も多い取引品目である旨は、すでにゴイテインによって言及されている (Goitein 1973: 16)。あわせて栗山 2008 参照。
- (16) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479, 481.
- (17) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 481-483.
- (18) Yāqūt, *Mu'jam*, II : 548. Cf. Ibn Mammātī, *Qawānīn*: 81.
- (19) al-Ya'qūbī, *Kitāb al-Buldān*: 337-338. Cf. Ibn Mammātī, *Qawānīn*: 81.
- (20) Ibn Ḥawqal, *Kitāb Ṣūrat al-Arḍ*: 159.
- (21) Abū al-Fidā, *Taqwīm*: 110-1; Yāqūt, *Mu'jam*, IV : 201.
- (22) *A Chronicle*: 150.
- (23) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479.
- (24) al-Muqaddasī, *Aḥsan*: 128.
- (25) *A Chronicle*: 142.
- (26) *Ḥudūd al-'Ālam*: 138.
- (27) Ibn Jubayr, *The Travels*: 226.
- (28) Ibn Rusta, *Kitāb al-A'lāq al-Nafīsa*: 152.
- (29) al-Muqaddasī, *Aḥsan*: 442.
- (30) *A Chronicle*: 142.
- (31) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479, 481-482.
- (32) al-Idrīsī, *Nuzhat*: 645.
- (33) al-Muqaddasī, *Aḥsan*: 160.
- (34) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479, 481-483.
- (35) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 480, 483-484.
- (36) *Nūr al-Ma'ārif*, I : 479-481.
- (37) Ibn Ḥawqal, *Kitāb Ṣūrat al-Arḍ*: 69. Cf. al-Muẓaffar, *Kitāb al-Mu'tamad*, 414.
- (38) al-Dimashqī, *Nukhbat*: 245.
- (39) al-Muqaddasī, *Aḥsan*: 470.
- (40) al-Qalqashandī, *Ṣubḥ*, II : 487.

- (41) al-Idrīsī, *Nuzhat*: 581, al-Dimashqī, *Nukhbat*: 242.
- (42) al-Muẓaffar, *Kitāb al-Mu'tamad*: 258. 東
- (43) Ibn Mammātī, *Qawānīn*: 328. 洋
- (44) アイザーブやクセイルについては、家島2006: 169-207、361-391; 栗
山2008参照のこと。 学
- (45) 家島2006: 484-504. Cf. al-Dimashqī, *Nukhbat*: 72.
- (46) 商品名の前に付された地名を生産・積出地と解釈することに関して 報
は、栗山2008を参照のこと。
- (47) *Nūr al-Ma'ārif*, I: 479-483.
- (48) *Nūr al-Ma'ārif*, I: 480.
- (49) *Nūr al-Ma'ārif*, I: 450, 459.
- (50) *Nūr al-Ma'ārif*, I: 483.
- (51) スファールは、今日のモザンビークからザンベジに至る海岸部とさ
れるが、その正確な位置は不明である (家島2006: 64)。
- (52) al-'Umarī, *Masālik al-Absār*, III: 58, 75-76.
- (53) *Nūr al-Ma'ārif*, I: 478.
- (54) ラスール朝史料において「山岳地産 (al-jabalī)」とある場合は、ザ
イド派イマーム政権の支配領域である、北部イエメンの山岳・高原地域
を指している (栗山2008)。
- (55) 原文では「al-sunbādh」とあるが、おそらく語尾のジーム (jīm) が
欠落していると思われる。したがって、本文のように「al-sunbādhaj (金
剛砂)」と解釈した (*Nūr al-Ma'ārif*, I: 478)。
- (56) 原文では「al-dawshā」とあるが、校訂者による注に「al-dawshāb」と
あるので、ここではこの注に拠った (*Nūr al-Ma'ārif*, I: 478)。

エジプトからイェメェンへ輸出された商品の一覧

番号	取扱品名	課税標準	関税			仲介税			備考	典拠
1	マフラブ (芳香性果粒 al-maḥlab al-munaqa)	1buḥūr	4	1/4	1/6	1	1/6			479
2	皮付マフラブ (al-maḥlab bi-qishara-hu)	1buḥūr	3	1q		1/2	1/3			479
3	マフラブ皮 (qishar al-maḥlab)	1buḥūr	2	2q		1/3	1/4			479
4	赤タマリンド (al-thamara al-ḥamrā')	1buḥūr	4	1q		1				479
5	バラ水 (al-mā' ward) [sic]	10mann	1/2			5q				479
6	絹糸 (al-ibrisim)	10mann	6			3	5q			479
7	漬したタマリンド (al-thamara al-mā' šūr) [sic]	1buḥūr	2	1/2	1/3	2/3				479
8	サフラン (al-za'fān)	1mann	1/2	1/4	1/8	1/3	1/8	2f		479
9	没食子 (al-'aṣṣ)	1buḥūr	1	5q	2f	1/6	1/8			479
10	高級バグダード産ベール (al-naṣāfi al-Baghdādī al-rifā') [sic]	10枚	3	1/4	1/8	1/2				479
11	標準バグダード産ベール (al-naṣāfi al-Baghdādī al-wasa') [sic]	10枚	2	1/3	1/4	1/6	1/8			479
12	モスル産ベール (al-naṣāfi al-Mawsiliya)	10枚	2	1/6	2f	1/8				479
13	白色ベール (al-taqāni' al-biḍ)	10枚	1/3			1q				479
14	シーラーズ産織物 (al-thiyāb al-Shirāziya)	10枚	2	1/6	2f	5q				479
15	旅行者用縞紋外衣 (al-abrād al-musāfirīya)	1枚	1/3	1/4		2q				479
16	イラク産縞紋外衣 (al-abrād al-'Irāqiya)	10枚	2	1/3	1/4	1/4				479
17	一般縞紋外衣 ([al-abrād] al-muqāraba)	10枚	1	1/2	1/4	1f	2q			479
18	ブローケーード紋織物 (al-thiyāb al-dībāj al-mumarrāḥ)	1枚	3	1/4	1/8	1/2				479
19	北部シナ産縞織物 (al-khiṭai al-naṣī)	1枚	3	1/4	1/8	1/2				479
20	ブローケーード紋織物 (al-thiyāb al-dībāj al-muthaghghar)	1枚	1	1/6	1/8	1/6				479
21	アッタービー産織物 (al-thiyāb al-'Atābi) [sic]	1枚	2/3	2f		2q				479

番号	取扱品名	課税標準	関税			仲介税			備考	典拠
22	フーラ産織物 (al-thiyāb al-ḥūliya)	10枚	5q	2f		1/6	1/8	1f		479
23	緋色織物 (al-thiyāb al-sīqalāṭūn)	1枚	2	1/3	1/4	1/4				479
24	色付布帯 (al-ma ājūr al-mulawwana)	10枚	2	1/3	1/8	1/4				479
25	大判色付亜麻織 (al-'aqaḍāt al-mulawwana al-kibar)	10枚	2/3	2f		2q				479
26	小判色付亜麻織 ([al-'aqaḍāt al-mulawwana] al-ṣighār)	10枚	1	2q					注1	479
27	イラン産無染色織物 (al-thiyāb al-Fārisiya al-maqṣūr)	1kawraja	1	1/2	1/3	1/8	3f	1/8		479
28	イラン産無漂白織物 ([al-thiyāb al-Fārisiya] al-khām)	10枚	4	1/2	1/3	1/8	1/4	2f		479
29	色付ストライプ柄外衣 (al-ḥulāl al-mulawwana)	1枚	2			1/2	1/8			479
30	金糸刺繍入りストライプ柄外衣 ([al-ḥulāl] al-mudhahhaba)	1buḥūr	2/3	1/8	3f					479
31	カヤツリグサ (al-si'd)	1buḥūr	1	1/2	1/3	1/3				480
32	マグリブ産クフル (al-kuḥl al-Maghribi)	1buḥūr	2/3	1/8	3f	1/6				480
33	イラン産ギンバイカ (al-hadas al-Fārisi)	1buḥūr	3			1/2	1/4			480
34	マラーザブ産亜鉛 (al-tūtiyā' al-Marāzabi) 注2	1shadda	1	2q						480
35	イラク産紙 (al-kaghid al-'Irāqi)	1buḥūr	1	1/2	1/3					480
36	ナツメヤシ果実液 (al-'asal al-nakhl)	1buḥūr	2	6f		1/2				480
37	蠶蠟 (al-shama')	1buḥūr	1/2	1f		2q				480
38	タマリンド (al-ḥumar)	1buḥūr	4	1/4	1/6	1/8	1			480
39	銅 (al-ṣafr al-fakhr) [sic]	1buḥūr	9				1/2	1/3		480
40	良質樟銅 (al-ṣafr al-qadab al-ḥilw) [sic]	1buḥūr	8	1/6			1	1/8		480
41	樟銅 (al-ṣafr al-qadab al-murr) [sic]	1buḥūr	2	1/2	1/8	2f	2/3			480
42	エジプト産銅 (al-ṣafr al-Bayrawa) [sic]	1buḥūr	1	5q	2f	1/6	1/8			480
43	黒鉛 (al-raṣāṣ al-aswad)	1buḥūr	3	1/2	1/4	2f	1			480
44	白鉛 (al-raṣāṣ al-abyaḍ)	1buḥūr								480

番号	取扱品名	課税標準	関税						仲介税			備考	典拠
			6	1/3	2f		1/2	1/3	1/2	1/3	1/4		
45	アーザーン (al-āḥān)	1buḥūr											480
46	水銀 (al-zaybaq)	10mann	1	1/3	1/4	1/8	2f	1/3	1/3	1/4	1/8	2f	480
47	辰砂 (al-zanjafar)	10mann	2	1/8				1	5q				480
48	亜麻 (al-kattān)	1buḥūr	1	1/2	1/3	3f		1/2					480
49	ろ砂 (al-nushādir)	10mann	1/2	1f				5q					480
50	アンチモニー (al-rāsikhat)	10mann	1/2	1f				5q					480
51	上質珊瑚 (al-marjān al-jayyid)											注 3	480
52	標準珊瑚 (al-marjān al-wasat)											注 4	480
53	一般珊瑚 (al-marjān al-muqārab)											注 5	480
54	マラス珊瑚 (al-marjān al-maras)											注 6	480
55	ダフラク島産ドウラキー (al-durakī al-Dahlakī)	1buḥūr	2	1/3	1/8	1f		1/6	1/8				480
56	ドウラキー (al-durakī al-'abrī)	1buḥūr	1	1/3	2f			1/6	1/8				480
57	エジプト産ガラス器 (al-zujāj al-Miṣrī)											注 7	480
58	マステイック天然樹脂 (al-muṣṭakī)	1buḥūr	8	1/6				3	1/2	1/8			481
59	液状没薬 (al-mā'ī'a al-sā'ila)	1buḥūr	2	2/3	1/4	2f		2/3					481
60	イラク産オカヒジキ (al-ushuna al-'Irāqiya)	1buḥūr	2	1/6	2f			1/6	1/8				481
61	乾燥没薬 (al-mā'ī'a al-yābisa)	1buḥūr	2	2/3	2f			1/6	1/8				481
62	白色絹長衣 (al-sawāsī al-bīd)	10枚	7	1/6				1/2	1/4				481
63	高級染色長衣 (al-sawāsī al-musafa' al-rifa')	10枚	7	1/6				1/2	1/4				481
64	標準絹長衣 (al-sawāsī al-musafa' al-wasat)	10枚	5	1/4	1/6	1/8		1/2					481
65	大判絹長衣 (al-sawāsī al-musafa' al-kibār)	10枚	4	1/4	3f			1/6	1/8		1f		481
66	白色布 (al-muqāt al-bīd)	10枚	2	1/2	1/4	1/8		1/6	1/8		1f		481
67	染色布 (al-muqāt al-musafa')	10枚	2	1/2	1/4	1/8		1/6	1/8		1f		481

番号	取扱品名	課税標準	関税				仲介税			備考	典拠
			2	1/2	1/4	1/8	1/6	1/8	1f		
68	高級絹布 ([al-muqāt·] al-ḥarīr al-rifā')	10枚									481
69	標準絹布 ([al-muqāt· al-ḥarīr] al-wasat)	10枚	2	5q	2f		5q				481
70	上質絹布 ([al-muqāt· al-ḥarīr] al-jayyid)	10枚	2	2/3	1/4	2f	1/8	2f			481
71	樟脳色ヒムス産肩掛け (al-malāwāt al-Ḥimṣī al-kāfūr) [sic]	10枚	2	5q	2f		5q				481
72	孔雀色ヒムス産肩掛け ([al-malāwāt al-Ḥimṣī] al-īwūsī) [sic]	10枚	2	5q	2f		5q				481
73	山羊毛肩掛け (al-malāwāt al-shī'rī) [sic]	10枚	1	1/2	1/4	1/8	1/6				481
74	亜麻織肩掛け (al-malāwāt al-kattān) [sic]	10枚	4	1/6			1/2				481
75	袖無肩掛け ([al-malāwāt] al-furūḥī) [sic]	10枚	4	1/6			1/2				481
76	ヒムス産肩掛け ([al-malāwāt] al-Ḥimṣī) [sic]	10枚	4	1/6			1/2				481
77	樟脳色肩掛け ([al-malāwāt] al-kārūrī) [sic]	10枚	4	1/6			1/2				481
78	孔雀色肩掛け ([al-malāwāt] al-īwūsī) [sic]	10枚	4	1/6			1/2				481
79	袖無山羊毛肩掛け (al-malāwāt al-sha'rī al-furūḥī) [sic]	10枚	3	1/4	1/6	1/8	1/4	1/8	2f		481
80	高級金糸刺繍入亜麻織肩掛け (al-malāwāt al-shimṣ al-mudhahhaba al-rifā') [sic]	1枚	2	1/4	1/6	1/8	5q				481
81	袖無色付腋布 (al-fūṭa al-mulawwana al-furūḥī)	10枚	1	1/2	1/4	2f	5q				481
82	山羊毛一般ハンカチ (al-manādīl al-muqāraba al-sha'rī) [sic]	10枚	1	1/4	1/6	1/8	2q	2f			481
83	樟脳色一般ハンカチ ([al-manādīl al-muqāraba] al-kāfūrī) [sic]	10枚	1	1/4	1/6	1/8	2q	2f			481
84	平織一般ハンカチ ([al-manādīl al-muqāraba] al-sādhī)	10枚	1	1/4	1/6	1/8	2q	2f			481
85	色付ターバン (al-'amā'im al-mulawwana)	10枚	2	1/3	1/4	1/8	2f	1/4			481
86	色付ターバン (al-sharābiyāt al-mulawwana)	10枚	2	1/2	1/3	1/8	2f				481
87	コース産刺繍入ターバン (al-'amā'im al-Qūṣī al-mutarraza) [sic]	10枚	1				6f				481
88	コース産ターバン (al-'amā'im al-Qūṣī) [sic]	10枚	1/2	1/3	2f		5f				481
89	エチオピア産ターバン (al-baqā'ir al-Ḥabāshī) [sic]	10枚	7	1/2	1/4						481
90	シマール (al-shimāl)									注 8	481

番号	取扱品名	課税標準	関税					仲介税		備考	典拠
			1/2	1/4	1/8	2f	2q	2q	1/2		
91	標準刺繍入服 (al-badhālāt al-muṭarraza al-wasat)	1枚									481
92	高級刺繍入服 ([al-badhālāt al-rifāʿ])	1枚	1	5q	2f		2q	1/2			482
93	一般刺繍入服 ([al-badhālāt al-muqābara])	1枚	1/3	1/4	2f		5f				482
94	高級刺繍入女性用ベール (al-talāthim al-muṭarraza al-rifāʿ)	10枚	7	5q			1/3	1/4	2f		482
95	標準刺繍入女性用ベール (al-talāthim al-muṭarraza al-wasat)	10枚	6				1/2				482
96	一般刺繍入女性用ベール (al-talāthim al-muṭarraza al-muqārada)	10枚	4	5q	2f		1/3	2f			482
97	7ジラーア幅ハンカチ (al-manādīl al-shāʿiyat al-muzmāra al-musakkama)	10枚	1	1/2	1/3		1/6				482
98	高級亜麻織ハンカチ (al-manādīl al-kattān al-ʿāl) [sic]	1枚	1	2f			2q	1/2			482
99	平織ハンカチ ([al-manādīl] al-sādhij)	1枚	1	2f			2q	1/2			482
100	樟版色ハンカチ ([al-manādīl] al-kāfurī)	1枚	1	2f			2q	1/2			482
101	無漂白光沢ハンカチ ([al-manādīl] al-ʿarāṣī al-kham)	1枚	1	2f			2q	1/2			482
102	(アザーイー亜麻ハンカチ (al-manādīl al-kattān al-ʿazāyī)	1枚	1	2f			2q	1/2			482
103	高級アソティオキア産織物 (al-thiyāb al-Anīākī al-rifāʿ) [sic]	1枚	1	2f			2q	1/2			482
104	標準アソティオキア産織物 (al-thiyāb al-Anīākī al-wasat) [sic]	1枚	1/2	1/3	3f		2q				482
105	一般アソティオキア産織物 (al-thiyāb al-Anīākī al-muqārab) [sic]	1枚	2/3	1f			5f				482
106	高級無漂白絹長衣 (al-sawāsī al-harīr al-kham al-rifāʿ) [sic]	10枚	12	6f			1	1/2			482
107	標準無漂白絹長衣 (al-sawāsī al-kham al-wasat)	10枚	8	1/2	1/3		1				482
108	一般無漂白絹長衣 (al-sawāsī al-harīr al-kham al-muqāraḥa) [sic]	10枚	6	5q			1/3	1/4	2f		482
109	高級漂白絹長衣 (al-sawāsī al-harīr al-maqṣūr al-rifāʿ) [sic]	10枚	8	1/2	1/3		1				482
110	標準漂白絹長衣 (al-sawāsī al-harīr al-maqṣūr al-wasat) [sic]	10枚	7	1/6			1/2	1/4			482
111	一般漂白絹長衣 (al-sawāsī al-harīr al-maqṣūr al-muqāraḥa) [sic]	10枚	5	1/4	1/6		1f	1/2			482
112	標準ダビーク産織物 (al-thiyāb al-Dabīqī al-wasat) [sic]	1枚	1/3	1/4	1/8	2f	6f				482
113	一般ダビーク産織物 (al-thiyāb al-Dabīqī al-muqāraḥa) [sic]	1枚	1/3	1/8	2f		1q				482

番号	取扱品名	課税標準	関税			仲介税			備考	典拠
			3	1/3	1/8		1/6	1/8		
114	絹羊毛混紡外衣 (al-manāṭir al-ṣūf wa al-ḥarīr) [sic]	10枚								482
115	マラティヤ産外衣 (al-akṣiya al-Malaṭi) [sic]	10枚	3	1/3	1/8		1/6	1/8		482
116	大判羊毛外衣 (al-manāṭir al-ṣūf al-kibār) [sic]	1枚	1	1/3	3f		2q	2f		482
117	エジプト産肩掛け (al-malāwāt al-Miṣrī ‘amal al-Ḥabash) [sic]	10枚	4	1/6	1f		1/2			483
118	エジプト産毛布 (al-malāḥif al-Miṣrī) [sic]	10枚	1	1/4	1/6	2f	1/8	2f		483
119	高級平織腰着 (al-wasaṭāniya al-sādhij al-rifa‘)	10枚	2/3	1/8	3f		1/4	1/6		483
120	無漂白クース産腰布 (al-fūṭa al-Qūṣī al-muḥaṣha) [sic]	10枚	6	2/3	1/4		2q			483
121	スフアーラ産ターバン (al-‘amā‘im al-Sufalī) [sic]	10枚	4	1/2	1/4		1/4	1/6		483
122	マルフーダ織物 (al-thiyāb al-marfūda)	10枚	2	1/6	2f		5q			483
123	アンティオキア産小判ハンカチ (al-manādī al-Anṭākīya al-ṣiḡḥar)	10枚	1/2				5f			483
124	イシクラート・ラームルン産麻布 (al-shuqaq al-Ramlūn al-ṣikkāt)	10枚	1	1/4	1/6	1/8	2f	2f		483
125	トルコ・イスファハーン産織物 (al-thiyāb al-ḥarīr al-Turkī al-ṣḡlām) [sic]	1枚	1/4	1/6	1/8	3f				483
126	平織絹ケツション (al-dusūr al-ḥarīr al-sādhij) [sic]	10枚	3	1/3						483
127	金糸刺繍入白絹布 (al-naṣāfi al-mudhahhaba)	1枚	1/4	1/6	1/8		2q			483
128	黄色砒素 (al-zamīkh al-asfar)	1buhūr	2	1/6	2f		1/4		注9	483
129	甘草 [根] (al-‘irq al-sūs)	1buhūr	1/2	1/8			1/8		注10	483
130	金糸刺繍入白色布帯 (al-ma‘ājir al-bīd al-mudhahhaba)	1枚	1/6	1/8			1q			483
131	絹織物 (al-thiyāb al-ḥarīr al-ṣandāt)	10枚	2	1/3	1/8		1/6		注11	483
132	グミエッタ産金糸刺繍入4ジラーア幅布 (al-arṣā‘ al-mudhahhara al-Dimjātī) [sic]	10枚	4	1/3	1/4					483
133	金糸刺繍入単色織物 (al-thiyāb al-muṣma al-mudhahhab)	1枚	1							483
134	染色胴衣 (al-awsāt al-musfa‘)	10枚	3	1/3						483
135	平織絹ベール (al-taqānī‘ al-ḥarīr wa al-sādhij)	1枚	1/6	1/8						483
136	クミン (al-kammūn)	1buhūr	1	5q			1/3			483

番号	取扱品名	課税標準	関税				仲介税	備考	典拠
137	金糸刺繍入亜麻織ベール (al-taqāmi' al-shurab al-mudhahhaba)	1 枚	1/4	1/6	1/8				483
138	ハンカチ (al-manaḏīl)	1 枚	1/4	1/6	1/8				483
139	金糸刺繍入長ベール (al-tuḥāt al-mudhahhaba)	1 枚	1/4	1/6	1/8				483
140	オリープオイル (al-salīṭ)	1buḥūr	1	1/2	1/8	2f			483
141	バター油脂 (al-samm)	1buḥūr	1	1/2	1/8	2f			483
142	干しブドウ (al-zabīb)	1buḥūr	1/2	1/4		7f			484
143	果膠 (発酵前のブドウ液 al-'uṣāra)	1buḥūr	1/3	2f		1f			484
144	硫黄 (al-kibrit)	1buḥūr	1	5q	2f	1/3			484
145	金糸刺繍入ベール (al-anqiba al-mudhahhaba)	1 枚	1/3						484
146	刺繍入りベール ([al-anqiba] al-muṭarraz)	1 枚	1/6						484
147	絹ベール (al-ḥawāshi al-ḥarīr)	1 枚	1/3						484
148	絹ハンカチ (al-'aṣā'ib)	1 枚	1/3						484
149	金糸刺繍入 (外着) (al-bakḥāniq al-mudhahhaba)	1 枚	1/3						484
150	刺繍入外着 ([al-bakḥāniq] al-muṭarraz)	1 枚	1/6						484
151	平織外着 ([al-bakḥāniq] al-sādhij)	1 枚	1/6						484
152	明礬 (al-shabb)	1buḥūr	1						484

凡例 [] は差違のため、筆者による挿入を示しており、原文にはない部分。() は同意を示す。典拠はすべて『知識の光』である。
単位が付されていない数値はいずれも、デイナー (dinar) が省略されている。q = キーラー (qirāt) f = ファルス (fals)

- 注1) 原文に「[] 上記: 大判色付亜麻織の」半分 (nisf) とある。
注2) 原文では「al-Mazamm」であるが、これは明らかに「al-Marāzabī」の誤記。
注3) 原文に「購入 2, 1/2, 1/4, 1/8, 仲介税 1, 1/4, 1/6, 100ラトルごとに54, 1/3, 1/4, 1/8」とある。
注4) 原文に「購入 2, 1/4, 1/6, 1/8, 仲介税 1, 100ラトルごとに45, 1/8, 3f」とある。
注5) 原文に「購入 2, 5q, 仲介税 1/3, 1/4, 100ラトルごとに35, 1/3, 1/4, 1f」とある。
注6) 原文に「購入 1, 2q, 2f, 仲介税 1/4, 1/6, 1/8, 100ラトルごとに17」とある。
注7) 原文に「種類に応じて 5, 1/6, 1/8を徴収」とある。
注8) 原文に「絹製フータのごとし (mithla al-fuwa al-ḥarīr [sic])」とある。
注9) 原文に「シャワーニーニ税 5q If (shawani 5q. If.)」とある。
注10) 原文に「シャワーニーニ税 1/6 (shawani 1/6)」とある。
注11) 原文に「シャワーニーニ税 1/4 (shawani 1/4)」とある。